

平成21年度上期原子力発電施設等 周辺地域企業立地支援給付金について

本給付金は、原子力立地地域における雇用機会の創出と産業振興を図るため、雇用の増加を生む企業に対して、一定期間にわたって、企業の支払った電気料金等に基づき、道府県が給付金を交付する制度です。当センターでは道府県からの要請を受けて交付事務・審査事務を行っています。平成21年度上期は北海道、青

森県、宮城県、福島県、新潟県、茨城県、石川県、福井県、静岡県、滋賀県、京都府、島根県、愛媛県、佐賀県、鹿児島県の審査事務等を行う予定です。平成21年度上期募集は、平成21年4月頃行われる予定です。詳細は、募集時の「応募要領」をご覧ください。

お問い合わせ先
 (財)電源地域振興センター 立地審査課
 電話：03・5405・8113
 e-mail: ritti@dengen.or.jp まで

初めて申請される場合

■主な補助要件

- 【電力契約】…新規立地または増設に伴う電力契約の新設または増設をしていること。
- 【対象となる電気料金】…①平成20年10月1日～平成21年3月31日に支払った電気料金であること。
 ②申請者が直接契約しているものであること。
 ③産業用途の電力契約で、臨時契約等期間に制限があるものでないこと。
- 【雇用】…雇用者(雇用保険の一般被保険者)が3人以上増加すること。
- 【投資】…(「特例加算※」を受ける場合のみ要件とする。)
 新たな投資額：所在市町村 新設 500万円(増設250万円)以上
 隣接市町村 新設1,000万円(増設500万円)以上
※特例加算とは、製造業および自治体で支援制度を整備している特定業種に対して行う、新規に採用した人数に応じた加算のこと。

■交付対象期間

立地(新増設)した翌期から原則8年の間で、条件を満たす期間については、継続して交付を受けることができます。ただし、前述のとおり、電気料金の支払実績等に基づいて金額が決まるので、都度(上期・下期の年2回)申請して頂く必要があります。

■交付額(算定交付額(A)と交付限度額(B)のいずれか小さい額となります)

●算定交付額(A)：契約電力分交付額(I) + 特例加算分交付額(II) (表1)

・契約電力分交付額(I)

①以下の計算式より算出単価(kWあたりの電気料金)を計算する。

算出単価	算定単価	
	第1欄	第2欄
～1,500円未満	750円	375円
1,500円以上2,500円未満	1,000円	500円
2,500円以上3,500円未満	1,500円	750円
3,500円以上4,500円未満	2,000円	1,000円
4,500円以上5,500円未満	2,500円	1,250円
以降1,000円刻み	以降500円刻み	以降250円刻み

算出単価 = $\frac{\text{半期における実支払電気料金}}{\text{実契約電力} \times \text{半期における支払月数}}$

②①で算出した値を表1に当てはめ、算定単価を求める

〔所在市町村、隣接市町村(旧隣接)〕：第1欄
 〔隣接市町村(旧外部)〕：第2欄

③以下の計算式により契約電力分交付額を算出する。

契約電力分交付額 = 算定契約電力 × (算定単価 - 交付金単価 × 2) × 支払月数 (表2)

※1 算定契約電力は、表2の区分に応じた電力を上限とする実契約電力
 ※2 交付金単価とは、原子力発電所の設備能力に応じて設定している単価

増加雇用者数	上限
3人以上20人未満	1,500kW
20人以上	2,500kW

・特例加算分交付額(II)

【所在市町村】：新規に雇用した人数 × 30万円 ※期末の雇用者数
 【隣接市町村(旧隣接、旧外部)】：新規に雇用した人数 × 15万円 ※期末の雇用者数

●交付限度額(B) ※交付限度額は(1)(2)のいずれか小さい額となります。

- (1) 算定電気料金交付限度額：算定契約電力 × (算定単価 × 係数1 - 交付金単価) × 支払月数
- (2) 支払電気料金交付限度額：半期における実支払電気料金 × 係数2 - (実契約電力 × 交付金単価 × 支払月数)

市町村区分	係数1	係数2
所在市町村	2	1
隣接市町村(旧隣接)	1.5	0.75
隣接市町村(旧外部)	2	0.50

既に本給付金の利用実績のある方が増設として申請する場合

本制度の交付期間は原則8年間ですが、増設した場合に次に掲げる要件を満たせば、増設の翌期から原則8年間になるまで期間を延長することができます。ただし、1事業所2回までに限ります。

- 【電力契約】…工場または事業場の増設に伴い契約電力が増加していること。
 - 【対象となる電気料金】…①平成20年10月1日～平成21年3月31日に支払った電気料金であること。
 ②申請者が直接契約しているものであること。
 ③産業用途の電力契約で、臨時契約等期間に制限があるものでないこと。
 - 【雇用】…雇用者(雇用保険の一般被保険者)が3人以上増加すること。
 - 【投資】…新たな投資額：所在市町村 250万円以上、隣接市町村 500万円以上
 - 【対象業種】…製造業および自治体で支援制度を整備している特定業種であること。
- ※本制度は平成20年度以降に新増設があったものが対象となります。平成19年度以前の増設は、旧制度の適用となります。

青森県むつ小川原地域での 特産品ブランド化に向けた取り組み

本年度、当センターでは経済産業省資源エネルギー庁の委託により、青森県むつ小川原地域十二市町村(※十和田市、三沢市、むつ市、平内町、野辺地町、七戸町、おいらせ町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、東通村)の特産品ブランド化を支援するための事業を実施しました。主に加工食品の製造・販売を行う事業者の皆様を対象に広く参加を募り、漁協、農協、道の駅、養蜂場及び菓子店などの六事業者の参加を得ることが出来ました。

決意を新たにされています。これらの取り組みの成果は、「成果発表会」を開催し、青森県むつ小川原地域十二市町村の皆様へ広く御紹介しました。

市町村名	出店事業者名	主な商品
十和田市	上北農産加工農業協同組合	スタミナ源たれ
		スタミナ源塩焼のたれ
横浜町	「道の駅」よこはま・菜の花プラザ	焼肉のたれ「辛味家」
		菜の花生はちみつ
東北町	市川養蜂場	ほたて炊き込みご飯の素
		女王蜂のりんご酢
六ヶ所村	遠田秋月堂	餅りんご酢
		ハケ
六ヶ所村	泊漁業協同組合	白のハケ
		黒のハケ
七戸町	とうほく天間グリーン・ジ・アース	ひらめスモーク
		いか沖漬
5市町村	6団体	長茅漬物 しそ
		長茅漬物 キムチ
		長茅漬物 醤油
		他商品全64種

表)「青森の味まつり」出店者及び主な商品一覧
 左上) 専門家による指導
 左下) 生産者と消費者のふれあい「青森の味まつり」

「第4回産品相談・商談会」を開催しました

去る平成二十二年二月三日(火)、「第4回産品相談・商談会」を東京都港区のホテルアジュール竹芝にて開催しました。全国から三十三市町村、四十八団体の参加があり、会場内は熱気に包まれていました。

今回は展示会形式として、参加団体がブースで産品を紹介し、バイヤー等が自由に会場内を見て回るといったスタイルで実施しました。これまでの面談形式は「一対一」でじっくりと話が出来ないというデメリットがありましたが、更に多くのバイヤーと会える機会を望む声も寄せられていました。そこで、全ての参加団体が全てのバイヤー等と接触することができるように、今回の形式を採用しました。

会場には、三十八名のバイヤー等が来場し延べ約四百件に及ぶ「相談・アドバイス」や、「今後繋がる商談」等が熱心に進められていました。参加団体の各ブースは様々な工夫を凝らしたディスプレイで、「地域」や「産品」の特色を大いにアピールしていました。多くのバイヤーとの接触は勿論の

事、他のブース・商品を見、試飲試食をしながら情報交換をすることによって、商品改良やPR方法等についてのヒントを得られたようです。



ディスプレイ完成、朝礼中



バイヤーと商談

お問い合わせ先
 (財)電源地域振興センター 振興調査部
 電話：03・5405・8112
 e-mail: chousai@dengen.or.jp

コンサルティング強化事業の実施報告

コンサルティング強化事業は、経済産業省資源エネルギー庁の委託を受けて、電源地域が抱える問題に対する相談や要望について、必要に応じてその内容に適した専門指導員を自治体へ派遣し支援する事業です。(一つの事業につき概ね3回まで)

今年度は北海道の岩内町から鹿児島県のいちき串木野市まで全国各地で

19件の事業を実施しました。商店街の活性化事業や定住促進に関する研修会など多種多様な相談や要望にお応えしており、参加した住民や関係者の方からは、「非常に参考になった。」「来年度もぜひ、活用したい。」などといった感想がありました。

今年度の代表的な活用事例は次のとおりです。



課題整理型
地元の魅力再発見のため参加者全員が意見を出し合うワークショップ
(千葉県鎌倉市)



講演会型
直売所立ち上げに向けて「観光カリスマ」の講演
(愛媛県伊方町)



研修会型
今後の公務員制度改革に向けた新たな人事評価制度構築のための研修
(佐賀県玄海町)

※このような事例以外でも事務局支援型、実技指導型、創造・開発型等、指導対象や目的により様々なパターンに対応可能です。ご相談いただいた課題に応じて最適なコンサルティングの手法を提案いたします。

活用事例

「薬膳料理の開発、販路開拓等に対する指導・助言」

鹿児島県いちき串木野市

【相談内容】
市として取り組んでいる「食のまちづくり」の一環として、薬草、薬膳料理の効能、市場について知識を深めるとともに、薬膳料理の開発を行い販路の開拓を試み、将来的には農業者の所得向上、後継者の養成につなげる方策について検討したい。

課題整理・研修会・実技指導複合型

第1回 今後の事業の方向性について検討

しっかりしたコンセプトを立て、推進体制を整理した。



第2回 薬膳料理研究講演会及び薬膳料理調理実習

講演会では、郷土食を薬膳の理論で組み立て直すという『ふるさと薬膳』について、多くの参加者が理解を深めた。試食会での反応は上々であった。



第3回 薬膳弁当等の開発及び祭りでの出店・販売

薬膳弁当や薬膳うどんのレシピを作り、それを基に地元のイベントに出店、試験販売し消費者の反応をみた。

地元の声

2つのイベントで薬膳弁当と薬膳うどんをそれぞれ出品したところいずれも好評でした。特に薬膳弁当は予想以上の売れ行きで、売り切れ後に問い合わせのお客さんも数多く見られました。

今回の事業では、成果品としての食の提供もそうですが、主体となった生活研究グループのメンバーの皆さんが、事業を通してこれまでの活動を見直し、今後どのように活動の幅を広げていけるのか検討をはじめると意識が変わったことが一番の成果だと思います。

【Vol.14 読者の声から】

●宮城県丸森町の行政で取り組んでいる移住者促進の記事は、これから地方が活性化するための新しい形ではないかと思った。
(鹿児島県揖保市 女性)

●特集で取り上げられた宮城県丸森町の行政の仕掛けと住民力…すごく今気になります。行政職員としてどうあるべきか考えさせられました。
(宮崎県延岡市 女性)

●各地の様々なイベントでのまちおこしの努力が参考になりました。
(神奈川県相模原市 男性)

●産品自慢の「さばのへしこ」は、意外な特産品でした。理想的な特産品の生まれ方ですね。
(千葉県君津市 女性)

●沖縄体験ニライカナイのリピーターが多いという点、その魅力が参考になりました。
(千葉県君津市 女性)

●発電所見学会などのイベントは、今、オール電化がもてはやされている中、電気との関わりを知ることにも役立ちます。
(岐阜県可児市 女性)

【読者プレゼント】

今号の特集「Pick Up」にご登場いただきました御前崎市観光協会のご厚意により、「御前崎産お茶」「しらす」「干し芋」のセットを五名様にプレゼントいたします。

とじ込みのアンケートハガキに本誌へのご意見、感想などをご記入の上、平成二十一年四月二十日(消印有効)までにお送りください。なお、当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。

【御前崎市特産品セットに関するお問い合わせ先】
御前崎市観光協会
0548-63-2001



【今号で紹介した電源市町村の発電所データ】

●特集(表紙) 静岡県御前崎市
表紙裏の目次欄を参照

●ふるさと応援団 鹿児島県阿久根市

川内原子力発電所隣接
出力:178万kW 事業者名:九州電力株式会社

●電気のふるさと産品自慢 青森県三戸町

澄川地熱発電所隣接
出力:5万kW 事業者名:東北電力株式会社

【人事往来】

●電源立地都道府県知事(平成20年11月~平成21年1月選挙分)

都道府県名	氏名	当選月日
栃木県	福田 富一	11月16日
山形県	吉村 美栄子	1月25日
岐阜県	古田 肇	1月25日

●電源地域市町村首長(平成20年11月~平成21年1月選挙分)

市町村名	氏名	当選月日
天龍村(長野県)	大平 巖	11月2日
釧路市(北海道)	蝦名 大也	11月2日
雲南市(島根県)	速水 雄一	11月9日
恵那市(岐阜県)	可知 義明	11月9日
砺波市(富山県)	上田 信雅	11月9日
新居浜市(愛媛県)	佐々木 龍	11月9日
刈羽村(新潟県)	品田 宏夫	11月11日
宇都宮市(栃木県)	佐藤 栄一	11月16日
那覇市(沖縄県)	翁長 雄志	11月16日
柏崎市(新潟県)	会田 洋	11月16日
南魚沼市(新潟県)	井口 一郎	11月16日
北杜市(山梨県)	白倉 政司	11月16日
南砺市(富山県)	田中 幹夫	11月16日
西条市(愛媛県)	伊藤 宏太郎	11月16日
只見町(福島県)	目黒 吉久	11月16日
三戸町(青森県)	竹原 義人	11月16日
上北山村(奈良県)	福西 浩	11月18日
朝日町(山形県)	鈴木 力幸	11月18日
勝山市(福井県)	山岸 正裕	11月23日
美里町(熊本県)	長嶺 興也	11月23日
大津町(熊本県)	家入 勲	11月25日
神石高原町(広島県)	牧野 雄光	11月25日
大豊町(高知県)	岩崎 憲郎	11月25日
北中城村(沖縄県)	新垣 邦男	11月25日
魚沼市(新潟県)	大平 悦子	11月30日
四日市市(三重県)	田中 俊行	11月30日
桑名市(三重県)	水谷 元	11月30日
横浜町(青森県)	野坂 充	12月2日
宇治市(京都府)	久保田 勇	12月8日
宜野座村(沖縄県)	東 肇	12月9日
大間町(青森県)	金澤 満春	12月16日
深浦町(青森県)	吉田 満	12月21日
白桦市(大分県)	中野 五郎	1月11日
平谷村(長野県)	小池 正充	1月13日
十和田市(青森県)	小山田 久	1月18日
菊川市(静岡県)	太田 順一	1月18日
西都市(宮崎県)	橋田 和実	1月18日
小松島市(徳島県)	稲田 米昭	1月18日
芦北町(熊本県)	竹崎 一成	1月18日
飯南町(島根県)	山崎 英樹	1月18日
大鹿村(長野県)	柳島 貞康	1月18日
池田町(福井県)	杉本 博文	1月20日
伯耆町(鳥取県)	森安 保	1月20日
南越前町(福井県)	川野 順万	1月25日
松阪市(三重県)	山中 光茂	1月25日
高島市(滋賀県)	西川 喜代治	1月25日
唐津市(佐賀県)	坂井 俊之	1月25日
大洲市(愛媛県)	大森 隆雄	1月25日
宇治田原町(京都府)	奥田 光治	1月27日

お問い合わせ先
 (財)電源地域振興センター 振興業務課
 電話:03-54405-8115
 e-mail:shinkou@dengen.or.jp